

(お知らせ)

令和 7 年 9 月 2 6 日

防 衛 省

護衛艦「ちょうかい」の米国派遣等について

防衛省・自衛隊は、我が国への侵攻部隊を早期・遠方で阻止・排除するため、スタンド・オフ防衛能力を強化することとしています。この能力を早期に構築するため、国産スタンド・オフ・ミサイルの早期取得に向けて取組を進めているところですが、その補完として、令和7年度から令和9年度まで、トマホークの取得を予定しています。

今般、護衛艦「ちょうかい」が、令和7年9月下旬から令和8年9月中旬までの間、米国に派遣されることをお知らせします。同艦は、米海軍の支援を得て、艦艇の改修や乗員訓練を行い、令和7年度中にトマホークの発射能力を獲得する予定です。また、令和8年夏頃までに、実射試験等を通じて、乗員の練度を含め、実際の任務に従事できることを確認する予定です。

また、同艦は、出国に先立つ令和7年9月25日、海上自衛隊横須賀基地において、米海軍の支援の下、トマホーク模擬弾の搭載訓練を実施しました。これは、トマホークの運用に必要な手順の習熟、安全管理体制の確認等を目的として実施したものです。

防衛省としては、トマホーク事業の着実な進捗を示すものとして、今般の米国派遣及び訓練を評価しており、引き続きスタンド・オフ防衛能力の早期構築に向けて取り組んでまいります。



トマホーク模擬弾の搭載訓練の様子